

4章 地域別構想

1 地域区分の方針

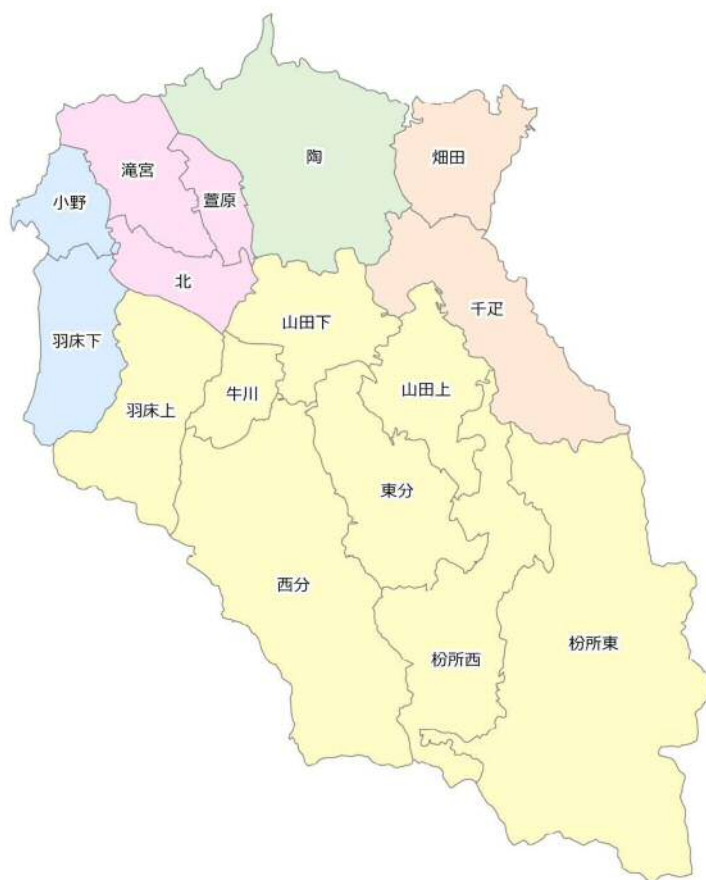
(1) 地域区分の考え方

地域別構想は、全体構想と整合を図りながら、各地域の特性を活かしたまちづくりを推進するため、将来像とまちづくりの目標を定め、住民と行政が共有するまちづくりの方針を明らかにします。

地域区分は、小学校区を基に以下の5地域に区分します。

地域別構想における地域区分

地域区分名称	地 区	小学校
昭和地域	畑田、千疋	昭和小学校
陶地域	陶	陶小学校
滝宮地域	萱原、滝宮、北	滝宮小学校
羽床地域	小野、羽床下	羽床小学校
綾上地域	粉所東、粉所西、山田上、山田下、東分、西分、羽床上、牛川	綾上小学校



地域区分図

(2) 地域の概況

	羽床地域	滝宮地域	陶地域	昭和地域	綾上地域
地形条件	・平地、丘陵地 ・綾川 ・堤山	・平地、丘陵地 ・綾川、府中湖 ・鞍掛山	・平地、丘陵地 ・富川、北条池 ・十瓶山	・平地、丘陵地 ・本津川 ・生子山	・平地、山林 ・綾川、長柄湖、 柏原溪谷 ・高峰山、陣ヶ峰
現況土地利用	農地 : 237ha 森林 : 328ha 宅地 : 68ha その他 : 51ha	農地 : 397ha 森林 : 113ha 宅地 : 220ha その他 : 150ha	農地 : 533ha 森林 : 211ha 宅地 : 195ha その他 : 153ha	農地 : 540ha 森林 : 339ha 宅地 : 130ha その他 : 169ha	農地 : 1,182ha 森林 : 5,471ha 宅地 : 177ha その他 : 310ha
土地利用制限	・綾川都市計画 区域 ・農業振興地域	・綾川都市計画 区域 ・用途地域 ・農業振興地域	・綾川都市計画 区域 ・農業振興地域	・綾川都市計画 区域 ・農業振興地域	・農業振興地域 ・国有林
交通条件	・ことでん ・国道 32 号 ・国道 377 号	・ことでん ・高松自動車道 ・国道 32 号	・ことでん ・国道 32 号 ・主要地方道府 中造田線	・ことでん ・高松空港 ・国道 32 号 ・主要地方道三 木綾川線 ・主要地方道国 分寺中通線	・国道 377 号 ・主要地方道府 中造田線 ・主要地方道国 分寺中通線
拠点	・生活拠点	・中心拠点 ・産業拠点 ・交流拠点 ・保健・医療拠点	・生活拠点 ・産業拠点 ・保健・医療拠点 ・スポーツ・レク リエーション 拠点	・生活拠点 ・地域拠点 ・スポーツ・レク リエーション 拠点	・地域拠点 ・産業拠点 ・保健・医療拠点 ・スポーツ・レク リエーション 拠点
土地利用方針	住宅地 田園集落地 丘陵地・山林	市街地 商業地 住宅地 田園集落地 丘陵地・山林	工業地 住宅地 田園集落地 丘陵地・山林	住宅地 田園集落地 丘陵地・山林	田園集落地 丘陵地・山林
人口(人) ※国勢調査小 地域集計	2015年 : 1,597 2020年 : 1,543 (推移) -3.4%	2015年 : 5,925 2020年 : 6,139 (推移) +3.6%	2015年 : 5,639 2020年 : 5,357 (推移) -5.0%	2015年 : 4,979 2020年 : 4,760 (推移) -4.4%	2015年 : 5,470 2020年 : 4,894 (推移) -10.5%
世帯数(世帯) ※国勢調査小 地域集計	2015年 : 567 2020年 : 605 (推移) +6.7%	2015年 : 2,092 2020年 : 2,342 (推移) +12.0%	2015年 : 2,013 2020年 : 2,084 (推移) +3.5%	2015年 : 1,903 2020年 : 1,904 (推移) +0.1%	2015年 : 1,973 2020年 : 1,923 (推移) -2.5%

※面積(ha)は、国土数値情報を用いて図上計測により算出したため、実際とは異なる場合があります。

2 地域別構想

(1) 昭和地域

昭和地域のまちづくり構想

緑豊かな丘陵地のもと、コミュニティが広がるまち

本地域の春日神社、畑田八幡神社では、地域の伝統行事である親子獅子舞が古くから奉納されているほか、地域の自主防災組織の加入率も高く、結び付きが高い地域です。

将来は、地域南部に広がるまとまった緑を有する丘陵地を保全しつつ、地域のコミュニティをより一層深め、地域の人々がお互いに協力し合うまちを目指します。

①地域の概況

【人口】

地区名	人口 (人)	人口			高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
		0-14歳	15-64歳	65歳以上		
畑田	3,976	466	1,992	1,509	38.0%	1,588
千疋	784	70	393	320	40.8%	316
合計	4,760	536	2,385	1,829	38.4%	1,904
綾川町	22,693	2,618	11,814	8,188	36.1%	8,858



資料：令和2年国勢調査 小地域集計

【主要な施設】

- ・昭和小学校、昭和こども園、子育て支援施設きらり、昭和公民館、畑田駐在所、昭和郵便局、畑田郵便局、さぬき空港公園

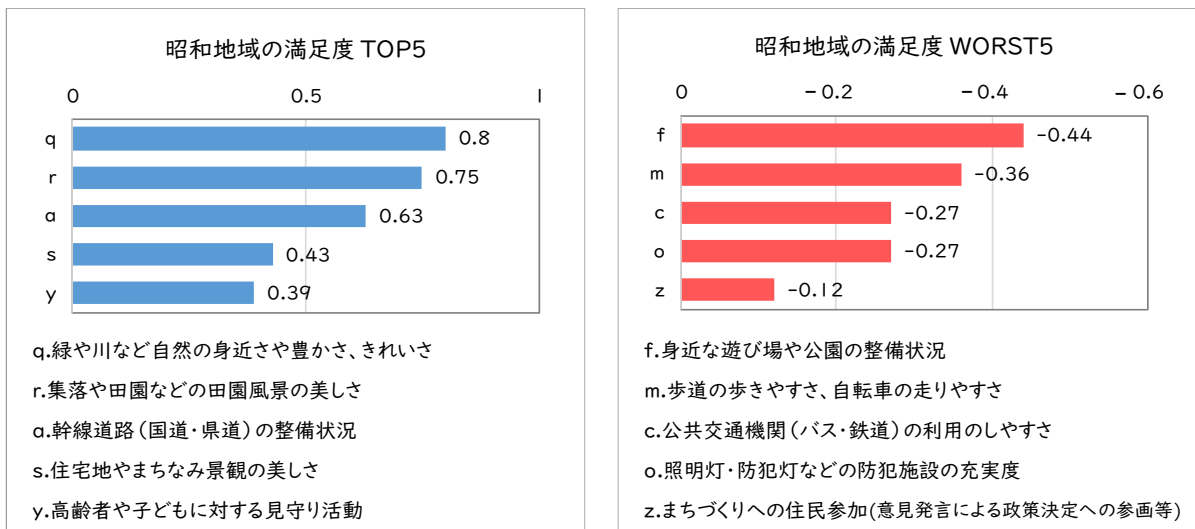
【都市施設等】

- ・公共交通軸である「ことでん」が東西に走り、「ことでん畑田駅・挿頭丘駅」がありますが、乗降者数は減少傾向にあります。
- ・地域交通軸として、一般県道高松琴平線が東西方向に走っています。また、主要地方道国分寺中通線が南北方向に走っています。
- ・スポーツ・レクリエーション拠点として、さぬき空港公園が地域南部に整備されています。また、中央部には生子山公園、富川農村公園が存在します。
- ・地域南部には、高松市にまたがり高松空港が整備されています。

【都市防災、環境・景観】

- ・本津川の周辺は、過去に浸水被害を受けています。
- ・地域の東部に存在する生子山は、周辺を眺めることができる良好な眺望地点となっています。
- ・春日神社、畑田八幡神社で奉納される親子獅子舞は、香川県の無形民俗文化財に指定されており、地域の文化として伝承されています。

【住民意見】



※アンケート調査「住んでいる地域の満足度」より、満足度が高い上位5つを「地域の満足度 TOP 5」、満足度が低い下位5つを「地域の満足度 WORST 5」として抽出しました。

②地域の主要課題

- ・本津川や規模の大きいため池は、防災環境の向上が望めます。
- ・公共交通である「ことでん」の利便性向上に向け、挿頭丘駅舎及び駐輪場などの環境整備が望めます。
- ・日常生活の利便性や安全性の向上に向け、身近に利用できる公園・広場、照明灯や防犯灯、歩道等の整備が望めます。

③まちづくりの方針

【土地利用】

- ・「ことでん畑田駅・挿頭丘駅」周辺を生活拠点とし、生活拠点への集住を図るため、空家等の空き家バンクへの登録や利活用の促進を図ります。また、昭和小学校周辺を地域拠点とし、教育や居住などの生活機能の維持を目指します。
- ・地域の中央部から北部にかけて広がる農地は、「綾川町農業振興地域整備計画」に基づき、保全を図ります。
- ・産業の活性化や雇用機会の拡大に向け、企業誘致を推進します。
- ・地域南部に広がる丘陵地一体は、自然環境の保全を図ります。












【都市施設等】

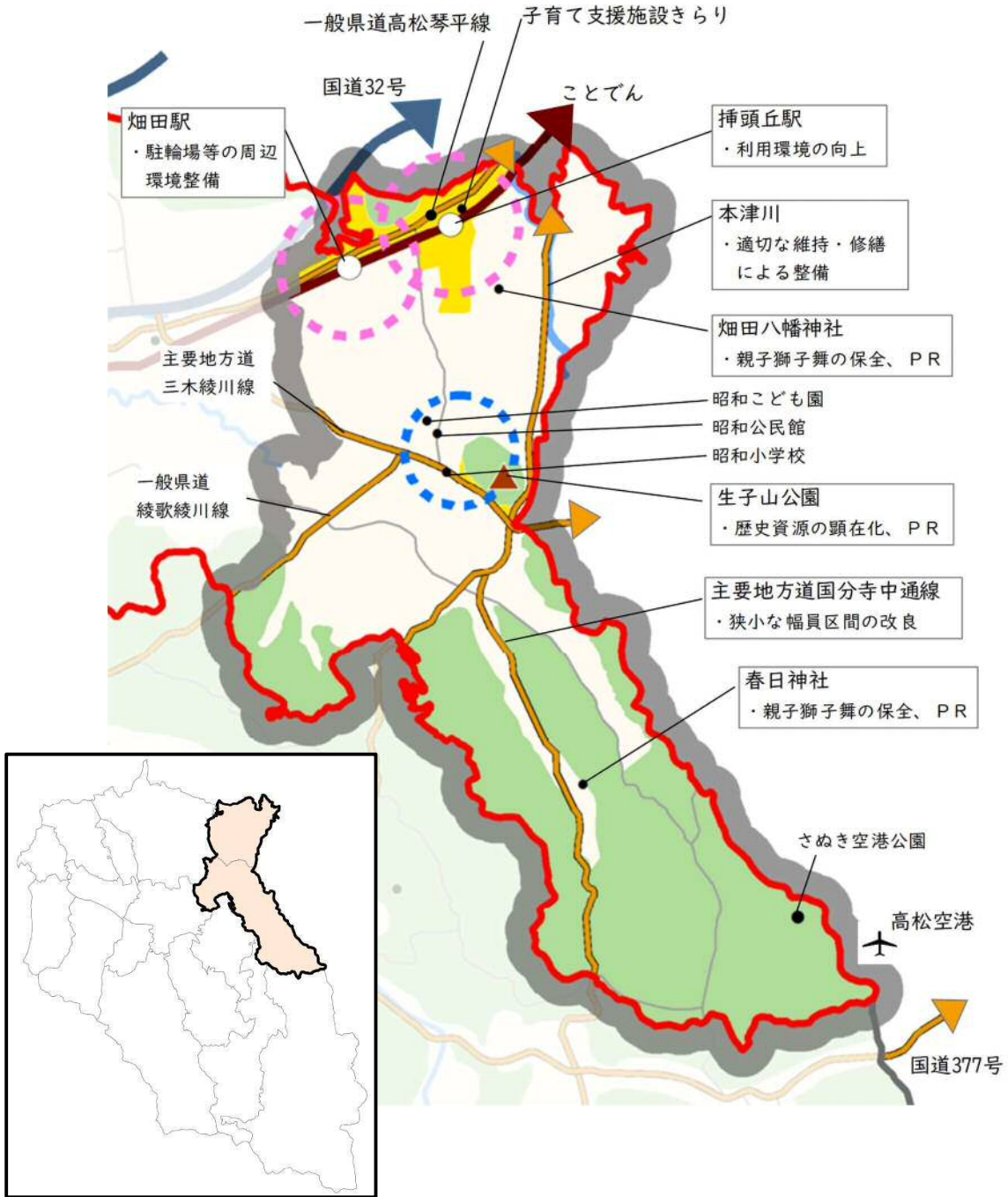
- ・地域交通軸であり、優先啓開路線でもある主要地方道国分寺中通線の一部未改良区間の整備を促進します。
- ・通学する生徒の安全確保に向け、通学路におけるカーブミラーや街灯の設置を推進します。
- ・公共交通の利用促進に向け、挿頭丘駅段差解消事業を推進します。また、「ことでん畑田駅・挿頭丘駅」におけるサイクル&ライドの推進に向け、畑田駅駐輪場の周辺環境の整備、挿頭丘駅における新たな駐輪スペースの確保に向けた駐輪場の整備に努めます。
- ・生子山公園周辺は、古墳、釈迦像、親鸞聖人像などの歴史関連施設が存在しており、これらの歴史的資源を顕在化し、広く周知、活用できるように案内板、説明板などを整備し、一体的な空間整備に努めます。
- ・「身近な公園整備基本計画」に基づき、身近に利用できる公園整備に努めます。
- ・浸水地域の解消や被害軽減に向けて、本津川の適切な維持・修繕による整備を促進します。

【都市防災、環境・景観】

- ・本地域に多く存在する比較的規模の大きなため池については、防災力の向上に向けてため池の耐震改修に努めます。
- ・春日神社、畑田八幡神社で開催される親子獅子舞は、郷土の伝統芸能として継承を図るとともに多くの人の目に触れるように広くPRを図ります。

- 地域全体での方針**
- ・畑田駅、挿頭丘駅周辺への集住
 - ・地域の中央部から北部にかけて広がる農地の保全
 - ・企業誘致の推進
 - ・通学路の安全性の向上
 - ・ため池の耐震改修

凡 例			
	行政界		生活拠点
	都市計画区域		地域拠点
	住宅地		公共交通軸(ことでん)
	田園集落地		広域交通軸
	丘陵地・山林		地域交通軸
			水と緑の軸



昭和地域のまちづくり方針図

(2) 陶地域

陶地域のまちづくり構想

十瓶山、鞍掛山にいだかれ、快適で暮らしやすいまち

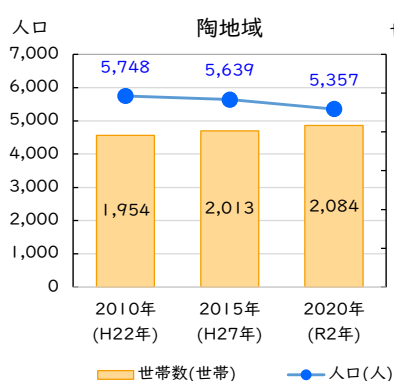
本地域には本町の代表的な景観でもある十瓶山、鞍掛山を有し、また、小中学校や医療・福祉、公園などの施設のほか、工業団地が立地しており、生活する上において利便性の高い地域です。

将来は、十瓶山や鞍掛山の保全・活用を図るとともに、生活利便性を維持しつつ快適で暮らしやすいまちを目指します。

①地域の概況

【人口】

地区名	人口 (人)	人口構成			高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
		0-14歳	15-64歳	65歳以上		
陶	5,357	663	2,966	1,689	31.5%	2,084
綾川町	22,693	2,618	11,814	8,188	36.1%	8,858



資料：令和2年国勢調査 小地域集計

【主要な施設】

- ・綾川中学校、陶小学校、陶こども園、陶公民館、陶駐在所、陶郵便局、綾川町国民健康保険陶病院、綾川町国民健康保険総合保健施設えがお、綾川町介護老人保健施設あやがわ、総合運動公園、香川とかめ工業団地

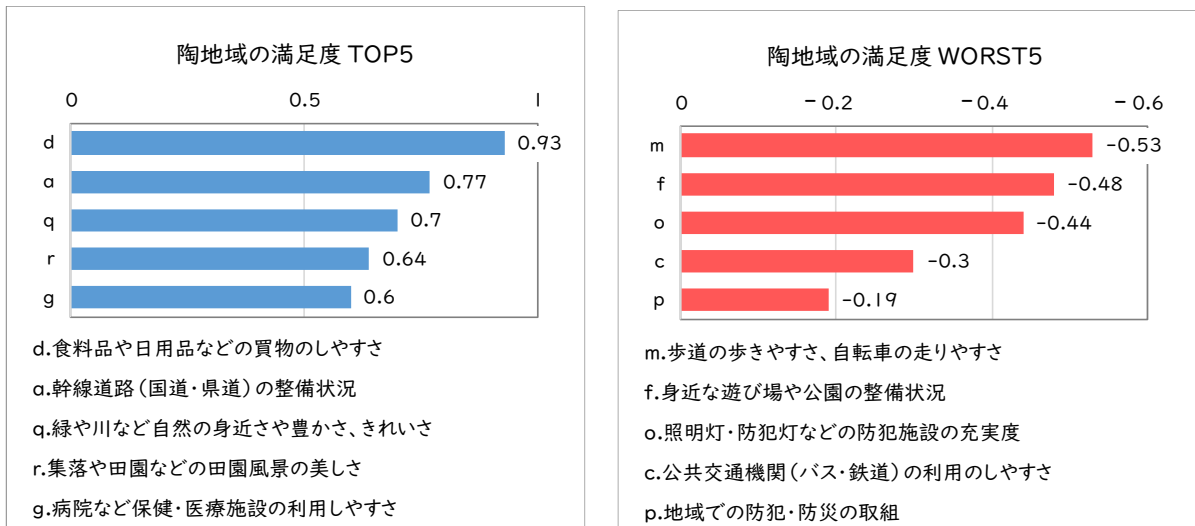
【都市施設等】

- ・公共交通軸である「ことでん」と広域交通軸である国道 32 号が東西に走り、「ことでん陶駅」は多くの人に利用されています。
- ・地域交通軸である一般県道高松琴平線が東西方向に走っています。また、主要地方道府中造田線が南北方向に走っています。
- ・スポーツ・レクリエーション拠点として、総合運動公園が地域北部に整備されています。また、農村公園が4箇所存在します。

【都市防災、環境・景観】

- ・富川、御寺川の周辺は、過去に浸水被害を受けています。
- ・十瓶山、鞍掛山は周辺を眺めることができる良好な眺望地点となっています。
- ・県の史跡に指定されている「すべっと窯跡」、「ますえ畑瓦窯跡」が存在するほか、近代土木遺産に指定されている「陶眼鏡橋」が存在します。

【住民意見】



※アンケート調査「住んでいる地域の満足度」より、満足度が高い上位5つを「地域の満足度 TOP 5」、満足度が低い下位5つを「地域の満足度 WORST 5」として抽出しました。

②地域の主要課題

- ・公共交通である「ことでん」の利便性向上に向け、駐輪場などの環境整備が望まれます。
- ・日常生活の利便性や安全性の向上に向け、身近に利用できる公園・広場、照明灯や防犯灯、歩道等の整備が望まれます。
- ・富川、御寺川周辺は過去に浸水被害を受けており、浸水対策に向けた防災環境の向上が望まれます。
- ・十瓶山、鞍掛山などの本町を代表する歴史・景観資源の保全・活用が望まれます。

③まちづくりの方針

【土地利用】

- ・「ことでん陶駅」周辺を生活拠点とし、生活拠点への集住を図るため、空家等の空き家バンクへの登録、空家等の利活用促進を図ります。
- ・地域北部に立地する工業地には、工場の誘導を図ります。
- ・平地に広がる農地は、「綾川町農業振興地域整備計画」に基づき、保全を図ります。

【都市施設等】

- ・綾川町国民健康保険陶病院へのアクセス道路であり、優先啓開路線でもある町道山原本線の一部未改良区間の整備を推進します。
- ・優先啓開路線でもある町道向原田所富川線は、一部未改良区間の整備を推進します。
- ・通学する生徒の安全確保に向け、通学路におけるカーブミラーや街灯の設置を推進します。
- ・サイクル&ライドの推進に向け、陶駅駐輪場に屋根を設置するなど環境整備に努めます。また、公共交通の利用促進に向け、駅前ロータリーの整備を推進します。
- ・総合運動公園は、防災機能の向上を図るとともに、さらなる活用に向けて、スポーツ教室の開催などを検討します。
- ・「身近な公園整備基本計画」に基づき、既存公園の再生に向けた検討を行います。

【都市防災、環境・景観】

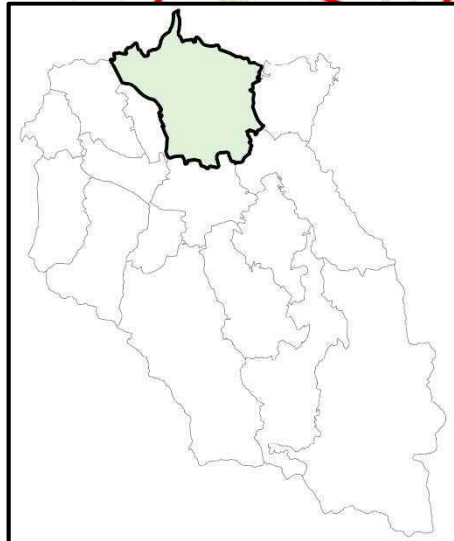
- ・富川、御寺川周辺の浸水を防ぐために、北条池との合流部における排水対策などについて検討を行います。
- ・自主防災組織加入率が町平均（約5割）を下回ることから、さらなる自主防災組織への加入を勧め、地域における防災力の向上を目指します。
- ・十瓶山へ登山ができるように登山道、案内標識の整備や車で訪れる人のための駐車場の整備を検討します。また、鞍掛山へ車で訪れる人のための駐車場の整備に努めます。

地域全体での方針

- ・陶駅周辺への集住
- ・工業団地への工場誘致
- ・平地に広がる農地の保全
- ・通学路の安全性の向上
- ・住宅地周辺における既存公園の再生
- ・自主防災組織への加入の推進

凡 例

	行政界		生活拠点
	都市計画区域		公共交通軸 (ことでん)
	住宅地		広域交通軸
	工業地		地域交通軸
	田園集落地		
	丘陵地・山林		



陶地域のまちづくり方針図

(3) 滝宮地域

滝宮地域のまちづくり構想

多くの人々が交流する、活力とにぎわいのまち

本地域には町役場、医療施設、コミュニティ施設、大型商業施設などが立地しており、様々な機能が集積しています。また、道の駅滝宮、滝宮天満宮などの交流拠点が存在し、多くの人々が訪れています。

将来は、綾川駅周辺において計画的な整備を推進し、さらなる都市機能の集積を図るとともに、人々の交流の機会や場を創出し、活力とにぎわいのあるまちを目指します。

①地域の概況

【人口】

地区名	人口 (人)	人口			高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
		0-14歳	15-64歳	65歳以上		
滝宮	3,492	506	1,896	1,079	30.9%	1,291
萱原	1,919	300	1,074	532	27.7%	784
北	728	81	403	244	33.5%	267
合計	6,139	887	3,373	1,855	30.2%	2,342
綾川町	22,693	2,618	11,814	8,188	36.1%	8,858



資料：令和2年国勢調査 小地域集計

【主要な施設】

- ・町役場、県立農業経営高等学校、滝宮小学校、滝宮こども園、高松西警察署、香川県農業試験場、生涯学習センター、中央公民館、滝宮公民館、滝宮郵便局、町営住宅八坂団地、町営住宅滝宮団地、滝宮総合病院、道の駅滝宮、滝宮天満宮、滝宮神社

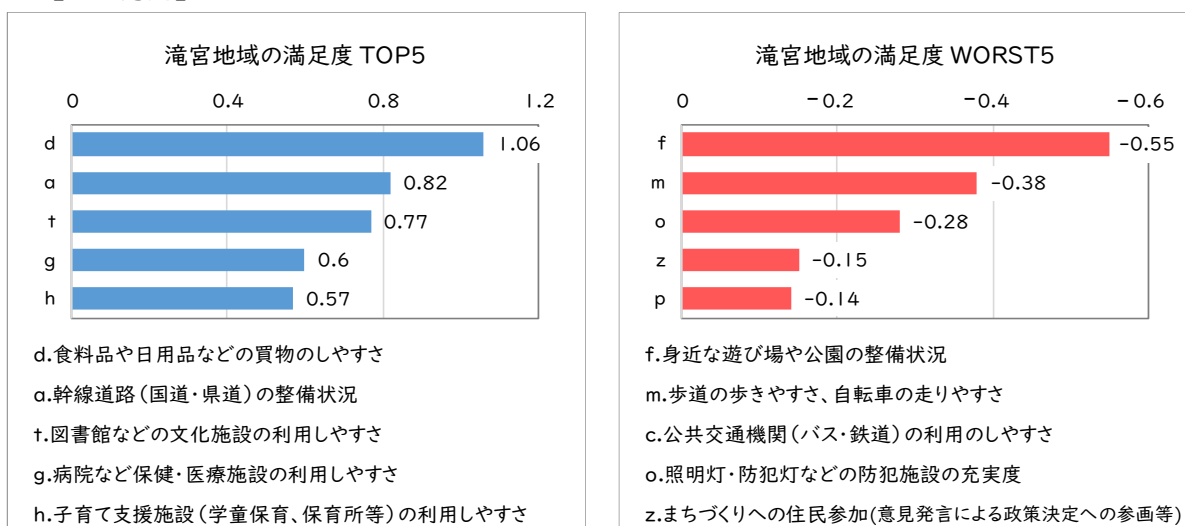
【都市施設等】

- ・公共交通軸である「ことでん」と広域交通軸である国道32号が東西に走り、「ことでん滝宮駅・綾川駅」は多くの人々が利用しています。
- ・地域交通軸である一般県道綾歌綾川線、一般県道高松琴平線が東西方向に走っています。また、一般県道綾川府中線、一般県道造田滝宮線が南北方向に走っています。府中湖沿いには香川坂出丸亀自転車道線が整備されています。
- ・国道32号沿道には、交流拠点として「道の駅滝宮」が1998年（平成10年）に整備され、2020年（令和2年）12月には施設改修を行いリニューアルオープンしています。また、道の駅滝宮は2021年（令和3年）6月に香川県では初の「防災道の駅」に選定されました。
- ・地域の中央部には滝宮公園があり、他にも運動広場・公園が4箇所存在します。
- ・萱原地区では、2023年（令和5年）4月の開園に向けて「ひだまり公園あやがわ」の整備を進めています。

【都市防災、環境・景観】

- ・綾川の周辺は、過去に浸水被害を受けています。
- ・近代土木遺産に指定されている「滝宮駅舎」、「滝宮橋」が存在するほか、香川の保存木に指定されている「常善寺のスイリュウヒバ」が存在します。

【住民意見】



※アンケート調査「住んでいる地域の満足度」より、満足度が高い上位5つを「地域の満足度 TOP 5」、満足度が低い下位5つを「地域の満足度 WORST 5」として抽出しました。

②地域の主要課題

- ・滝宮天満宮、滝宮神社などの歴史資源や道の駅滝宮といった施設が集中し、「ことでん滝宮駅・綾川駅」から近接しているなど、立地条件に恵まれていることから、資源・施設間の連携・ネットワークの向上が望まれます。
- ・公共交通である「ことでん」の利便性向上に向け、アクセス性の向上が望まれます。
- ・日常生活の利便性や安全性の向上に向け、身近に利用できる公園・広場、照明灯や防犯灯、歩道等の整備が望まれます。
- ・綾川周辺は浸水が想定されており、浸水対策による防災環境の向上が望まれます。

③まちづくりの方針

【土地利用】

- ・町役場周辺を中心拠点として、都市機能の集積を図るとともに、集住を図ります。
- ・「ことでん綾川駅」周辺は、市街地ゾーンにおける良好な居住環境の創出や生活利便性の向上にむけて商業、医療・福祉機能などの集積を図ります。
- ・中心拠点への集住を促進するため、空家等の空き家バンクへの登録、空家等の利活用促進を図ります。
- ・地域南部の平地に広がる農地は、「綾川町農業振興地域整備計画」に基づき、保全を図ります。

【都市施設等】

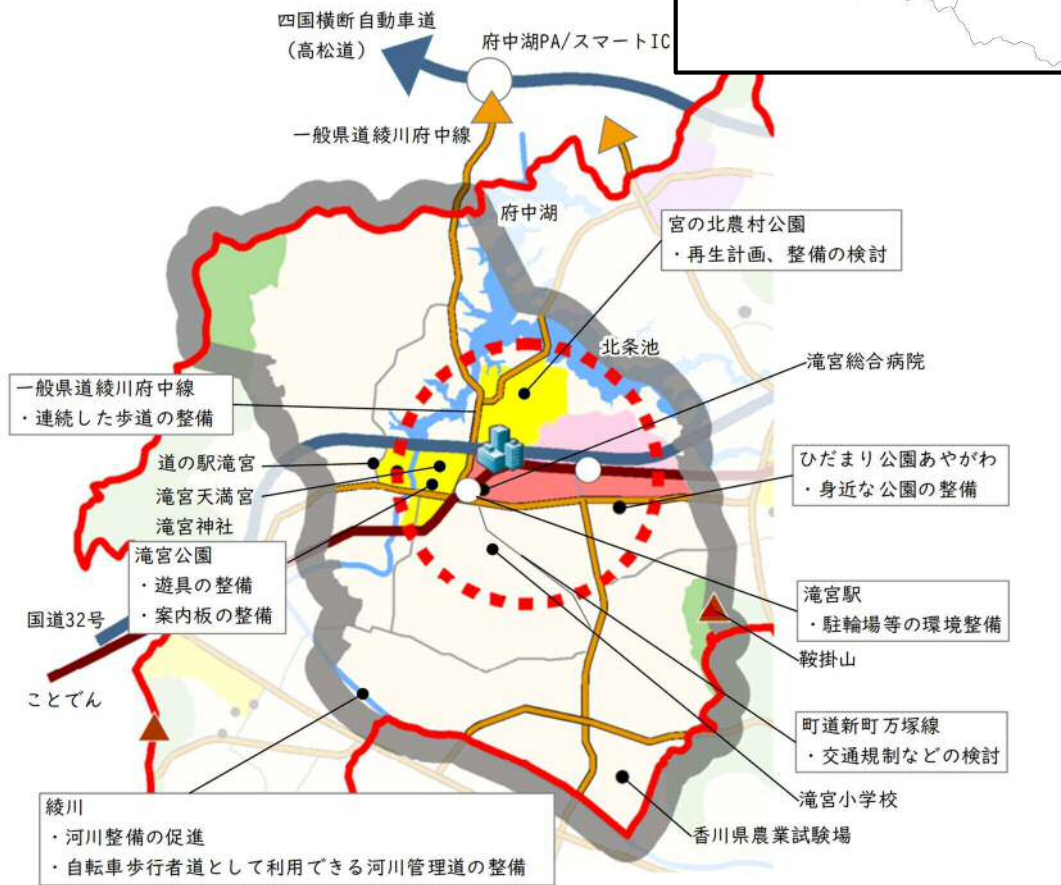
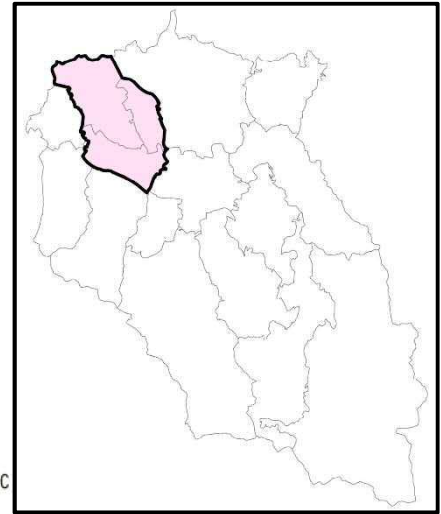
- ・地域交通軸である一般県道綾川府中線は、安全に歩行できる連続した歩道空間の整備を促進します。
- ・滝宮小学校の前面に位置する町道新町万塚線は、通学路として安全に歩行できるよう交通の規制などに努めます。
- ・通学する生徒の安全確保に向け、通学路におけるカーブミラーや街灯の設置を推進します。
- ・サイクル&ライドの推進に向け、滝宮駅駐輪場に屋根を設置するなど環境整備に努めます。
- ・道の駅滝宮から滝宮公園、滝宮神社、滝宮天満宮へ歩いて散策できるように歩行者ネットワークの構築を目指します。
- ・滝宮公園は、遊具などの整備を行うとともに、利用しやすい環境となるように維持管理に努めます。また、駐車場については、来訪者が利用しやすいように案内板などの整備に努めます。
- ・「身近な公園整備基本計画」に基づき、身近に利用できる公園の整備に努めます。
- ・綾川沿いの自然景観を観ながら散策できるように、自転車歩行者道として利用できる河川管理道を綾川上流に向けて延伸するよう促進します。
- ・国道 32 号から市街地へ誘導する町道萱原造田綾南線では、良好な景観の創出を目指します。
- ・綾川は水と緑の軸として、自然環境に配慮しつつ治水対策を促進します。

【都市防災、環境・景観】

- ・自主防災組織加入率が町平均（約5割）を下回ることから、さらなる自主防災組織への加入を勧め、地域における防災力の向上を目指します。
- ・景観資源である滝宮橋に訪れやすくするために、滝宮公園駐車場から滝宮橋へ誘導するための案内板などの整備に努めます。

地域全体での方針

- ・町役場、綾川駅周辺への都市機能の集積及び良好な居住環境の創出
- ・交流拠点である道の駅滝宮周辺の歩行者ネットワークの構築
- ・地域南部の平地に広がる農地の保全
- ・通学路の安全性の向上
- ・住宅地周辺における身近に利用できる公園整備
- ・自主防災組織への加入の推進



凡 例	
行政界	綾川町役場
都市計画区域	中心拠点
市街地	公共交通軸(ことでん)
住宅地	広域交通軸
商業地	地域交通軸
田園集落地	水と緑の軸
丘陵地・山林	

滝宮地域のまちづくり方針図

(4) 羽床地域

羽床地域のまちづくり構想

自然と歴史に囲まれ、心がやすらぐまち

本地域には本町の代表的な景観でもある堤山や羽床城跡などの歴史資源が残っています。また、地域を流れる綾川は、自然景観を有しており、動植物の生息・生育空間となっています。

将来は、自然空間・歴史資源の保全を図りながら、これらを後世に伝えていくように取り組んでいくとともに、地域の人々が協力してこれら資源を活用したまちを目指します。

①地域の概況

【人口】

地区名	人口 (人)	人口			高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
		0-14歳	15-64歳	65歳以上		
小野	646	82	313	251	38.9%	242
羽床下	897	71	457	369	41.1%	363
合計	1,543	153	770	620	40.2%	605
綾川町	22,693	2,618	11,814	8,188	36.1%	8,858



資料：令和2年国勢調査 小地域集計

【主要な施設】

- ・羽床小学校、羽床こども園、羽床公民館、羽床簡易郵便局、町営住宅羽床団地

【都市施設等】

- ・公共交通軸である「ことでん」と広域交通軸である国道32号が東西に走り、「ことでん

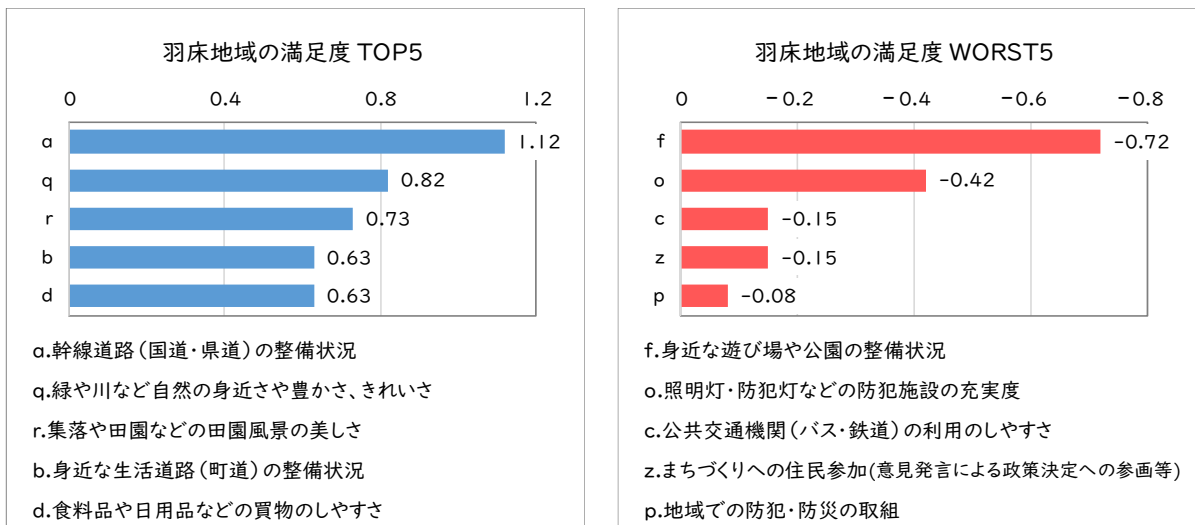
羽床駅」は乗降者数が減少傾向にあります。

- ・広域交通軸である国道 32 号と地域交通軸である国道 377 号、一般県道綾歌綾川線、一般県道高松琴平線が東西方向に走っています。
- ・地域の南部から北部にかけて綾川が流れています。

【都市防災、環境・景観】

- ・綾川の周辺は、過去に大きな浸水被害を受けています。
- ・地域の西部には本町における代表的な景観を有する堤山があります。また、綾川は自然環境を有した河川で、動植物の生息・生育空間となっています。

【住民意見】



※アンケート調査「住んでいる地域の満足度」より、満足度が高い上位5つを「地域の満足度 TOP 5」、満足度が低い下位5つを「地域の満足度 WORST 5」として抽出しました。

②地域の主要課題

- ・公共交通である「ことでん」の利便性向上に向け、羽床駅におけるアクセス性の向上が望まれます。
- ・日常生活の利便性や安全性の向上に向け、身近に利用できる公園・広場、照明灯や防犯灯の整備が望まれます。
- ・綾川周辺は浸水が想定されており、浸水対策に向けた防災環境の向上が望まれます。
- ・指定避難所が羽床下地区に集中しており、綾川が氾濫した場合には、小野地区の人が指定避難所に移動することが困難となることから、小野地区における避難所の確保が望まれます。
- ・羽床小学校の前面に位置する町道堤下田井線は、通学路となっており、安心して歩行できる空間確保が望まれます。

③まちづくりの方針

【土地利用】

- ・「ことでん羽床駅」や「羽床小学校」周辺を生活拠点とし、生活拠点への集住を図るため、空家等の空き家バンクへの登録、空家等の利活用促進を図ります。
- ・地域中央の平地に広がる農地は、「綾川町農業振興地域整備計画」に基づき、保全を図ります。
- ・地域の北部及び南部にかけて広がる丘陵地や堤山周辺は、自然環境の保全を図ります。

【都市施設等】

- ・羽床小学校の前面に位置する町道堤下田井線は、通学路として安全に歩行できるよう交通の規制などに努めます。
- ・通学する生徒の安全確保に向け、通学路におけるカーブミラーや街灯の設置を推進します。
- ・綾川沿いの自然景観を観ながら散歩できるように、自転車歩行者道として利用できる河川管理道を綾川上流に向けて延伸するよう促進します。
- ・空き地などの未利用地について、土地所有者の協力を仰ぎながら、広場やポケットパークとしての利用を検討します。
- ・綾川は水と緑の軸として、自然環境に配慮しつつ治水対策を促進します。

【都市防災、環境・景観】

- ・自主防災組織加入率が町平均（約5割）を下回ることから、さらなる自主防災組織への加入を勧め、地域における防災力の向上を目指します。
- ・小野地区における避難所の確保について検討します。
- ・誰もが堤山へ気軽に登山できる環境づくりとして、駐車場や案内標識などの整備に努めます。
- ・羽床城跡などの歴史的資源の活用に努めます。

地域全体での方針

- ・羽床駅、羽床小学校周辺への集住
- ・地域の中央にかけて広がる農地の保全
- ・地域の北部及び南部にかけて広がる丘陵地や堤山周辺の保全
- ・通学路の安全性の向上
- ・広場やポケットパーク整備の検討
- ・自主防災組織への加入の推進
- ・小野地区における避難所の確保

凡 例

	行政界		生活拠点
	都市計画区域		公共交通軸 (ことでん)
	住宅地		広域交通軸
	田園集落地		地域交通軸
	丘陵地・山林		水と緑の軸



羽床地域のまちづくり方針図

(5) 綾上地域

綾上地域のまちづくり構想

豊かな緑と水に活かし、生活と交流が共存するまち

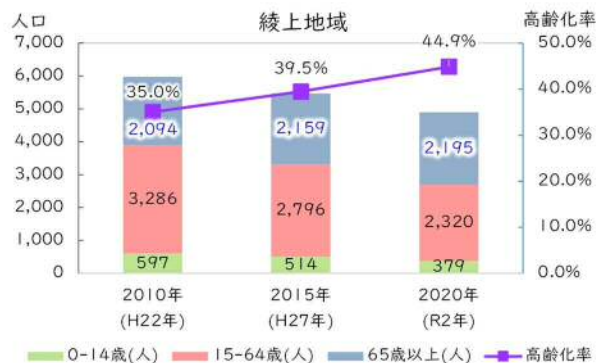
本地域には本町の代表的な景観でもある柏原溪谷、高鉢山を有し、地域を流れる綾川は、地域の中央部・南部に広がる山林とともに、動植物の生息・育成空間となっています。

将来は、豊かな自然空間の保全・活用を図りながら、高速インターネット環境等の活用による生活機能の維持や交流機能の創出を図り、生活と交流が共存するまちを目指します。

①地域の概況

【人口】

地区名	人口 (人)	人口			高齢化率 (%)	世帯数 (世帯)
		0-14歳	15-64歳	65歳以上		
粉所東	452	28	219	205	45.4%	156
粉所西	239	19	96	124	51.9%	108
山田上	850	88	425	337	39.6%	337
山田下	1,260	111	580	569	45.2%	466
東分	377	18	202	157	41.6%	161
西分	507	22	219	266	52.5%	212
羽床上	755	57	345	353	46.8%	284
牛川	454	36	234	184	40.5%	199
合計	4,894	379	2,320	2,195	44.9%	1,923
綾川町	22,693	2,618	11,814	8,188	36.1%	8,858



資料：令和2年国勢調査 小地域集計

【主な施設】

- ・綾上支所、綾上小学校、山田こども園、羽床上こども園、粉所公民館、山田公民館、西分公民館、羽床上公民館、綾上郵便局、羽床上郵便局、綾上診療所、ふれあい運動公園、高山航空公園、柏原溪谷 TaTuTa の森

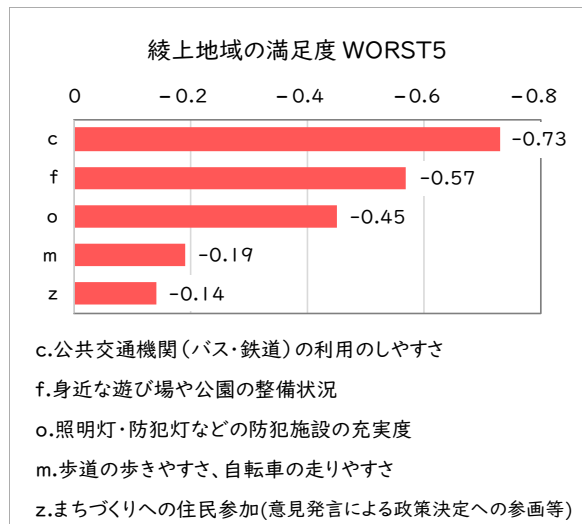
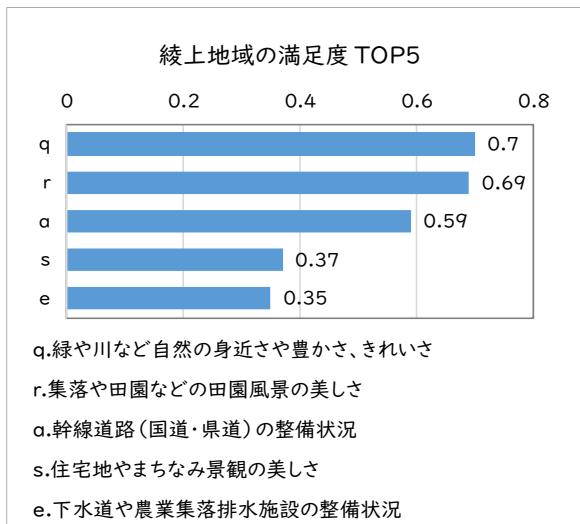
【都市施設等】

- ・地域交通軸である国道 377 号、一般県道綾歌綾川線が東西方向に走っています。また、主要地方道府中造田線、主要地方道国分寺中通線、一般県道造田滝宮線が南北に走っています。
- ・スポーツ・レクリエーション拠点として、ふれあい運動公園、高山航空公園が整備されています。また、農村公園が1か所存在します。
- ・地域の南部から北西部にかけて綾川が流れています。

【都市防災、環境・景観】

- ・綾川周辺は、過去に大きな浸水被害を受けています。
- ・地域の南部には、本町における代表的な景観を有する柏原溪谷、高鉢山があります。また、綾川は自然環境を有した河川で、動植物の生息・生育空間となっています。
- ・登録有形文化財に指定されている「芋坂家住宅長屋門」、「綾菊酒造(旧泉谷酒造場)」が存在するほか、香川県の保存木に指定されている「大將軍神社のアベマキ」、「和田神社のコナラ」が存在します。

【住民意見】



※アンケート調査「住んでいる地域の満足度」より、満足度が高い上位5つを「地域の満足度 TOP 5」、満足度が低い下位5つを「地域の満足度 WORST 5」として抽出しました。

②地域の主要課題

- ・日常生活の利便性や安全性の向上に向け、身近に利用できる公園・広場、照明灯や防犯灯、歩道等の整備が望まれます。
- ・綾川周辺は浸水が想定されており、浸水対策に向けた防災環境の向上が望まれます。
- ・町営バスの利便性、ことでん各駅や市街地へのアクセス性の向上が望まれます。

③まちづくりの方針

【土地利用】

- ・地域拠点への集住を図るため、空家等の空き家バンクへの登録、空家等の利活用促進を図ります。
- ・地域北部の平地に広がる農地は、「綾川町農業振興地域整備計画」に基づき、保全を図ります。
- ・山林には水源かん養や自然災害防止など様々な機能があります。これらの機能を保全するため、適正な間伐や枝打ちなどを推進します。

【都市施設等】

- ・通学する生徒の安全確保に向け、通学路におけるカーブミラーや街灯の設置を推進します。
- ・空き地などの未利用地について、土地所有者の協力を仰ぎながら、広場やポケットパークとしての利用を検討します。
- ・綾川沿いの自然景観を観ながら散策できるように、自転車歩行者道として利用できる河川管理道を羽床地域から延伸することを検討します。
- ・綾川は水と緑の軸として、自然環境に配慮しつつ治水対策を促進します。また、綾川上流に存在する長柄ダムについては、施設周辺を含めた再開発を推進します。
- ・町営バスについては、「綾川町地域公共交通計画」に基づき、利便性の向上を図ります。
- ・あやがわ移動販売車「E-Wα」については、買い物弱者となる高齢者等への支援として、サービスの継続に努めます。
- ・高速インターネット環境を利用したIoTなどの情報通信技術等を活用し、遠隔での行政手続き、介護予防事業や保健福祉サービスなど高齢者等への福祉充実、サテライトオフィスの誘致など、地域の利便性向上を目指します。

【都市防災、環境・景観】

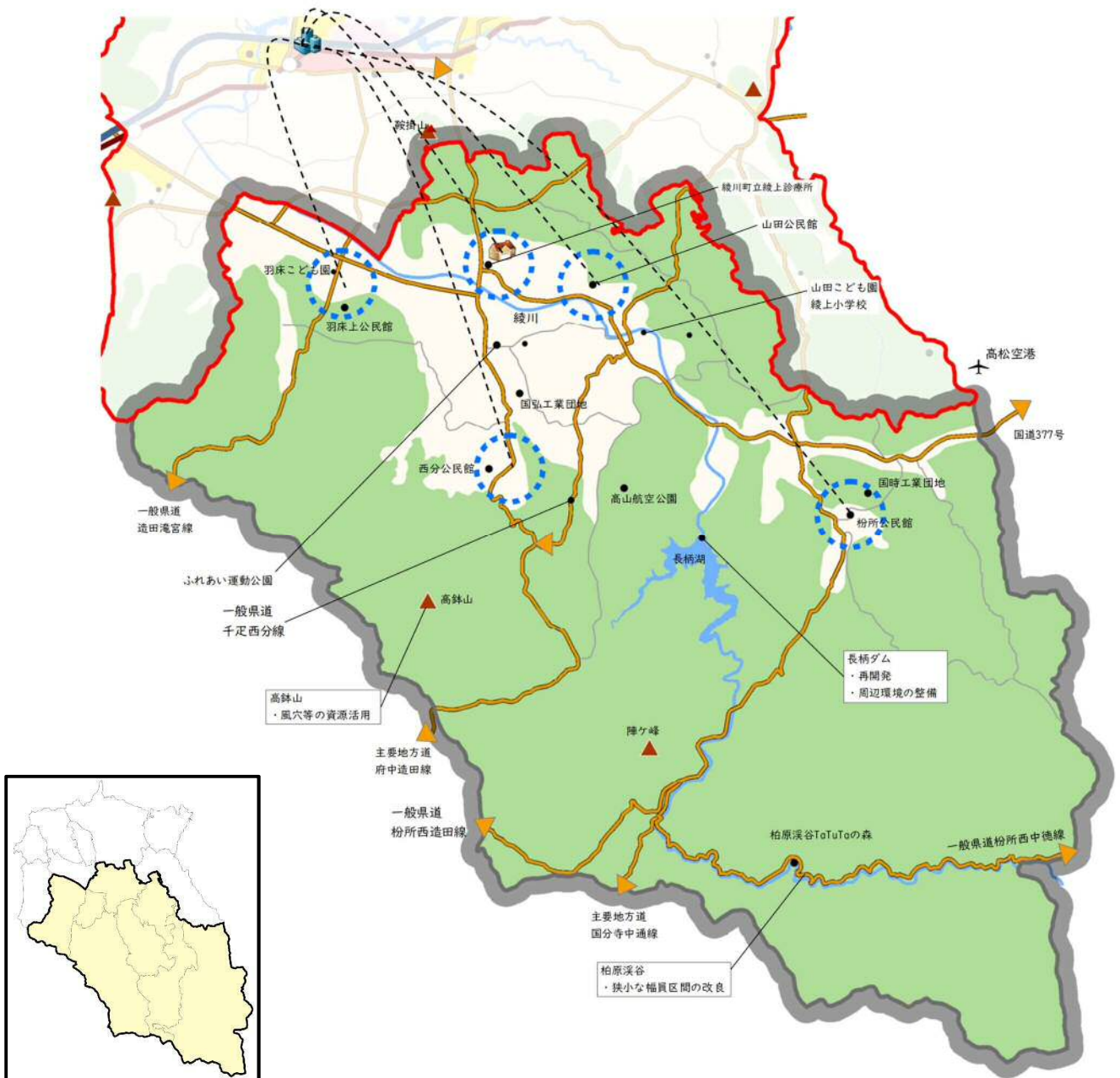
- ・自主防災組織加入率が町平均（約5割）を下回ることから、さらなる自主防災組織への加入を勧め、地域における防災力の向上を目指します。
- ・景観資源である高鉢山の風穴、柏原溪谷のキャンプ場などに訪れやすくするために、狭あい区間の整備や誘導するための案内標識の整備に努めます。
- ・綾川上流域に存在する長柄ダムについては、綾川の治水安全度の向上に向けて、再開発を推進します。
- ・地域資源を生かした関係人口・交流人口の創出を図るため、空き家を有効活用した宿泊施設、飲食店や商店等の民間投資を促進します。

地域全体での方針

- ・公民館周辺への集住
- ・地域の北部にかけて広がる農地の保全
- ・地域の中部及び南部にかけて広がる山林の保全
- ・広場やポケットパーク整備の検討
- ・自然景観やレクリエーション施設等の観光資源の活用
- ・自主防災組織への加入の推進

凡 例

	行政界		綾上支所
	都市計画区域		地域拠点
	田園集落地		地域交通軸
	丘陵地・山林		水と緑の軸
			通信連携軸



綾上地域のまちづくり方針図